設置説明書

SANYO

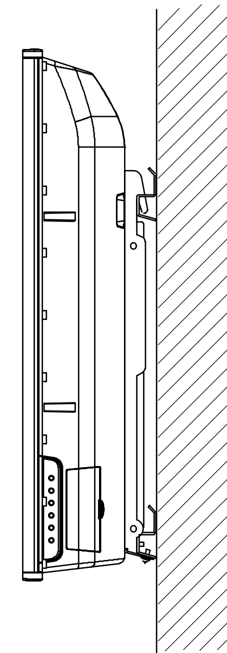
プラズマディスプレイ専用壁掛けユニット

品番 KA-WA-V30

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの「設置説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

この壁掛けユニットは下記のプラズマディスプレイ専用です。

- 37V型プラズマテレビ PDP-37HD3／PDP-37H3／PDP-37V2
  PDP-37HD5
- 42V型プラズマテレビ PDP-42HD3／PDP-42H3／PDP-42V2
  PDP-42V2EX／PDP-42HD5／PDP-42V3



必ずお守りください

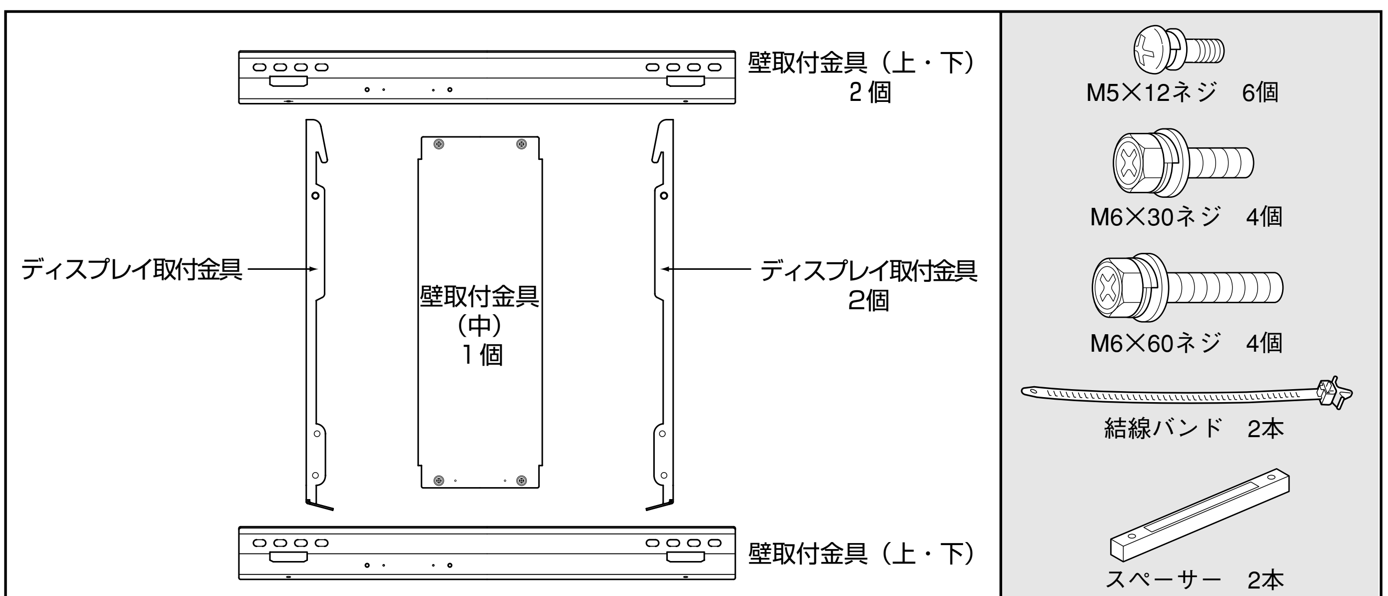
プラズマディスプレイの設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

◇販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、プラズマディスプレイと壁掛けユニットの荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず２人以上で行ってください。
- 設置説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

同梱品一覧

※プラズマディスプレイのV型（37V型等）は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。



This Japanese manual is only valid in Japan.　(IDMZ)

安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この設置説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

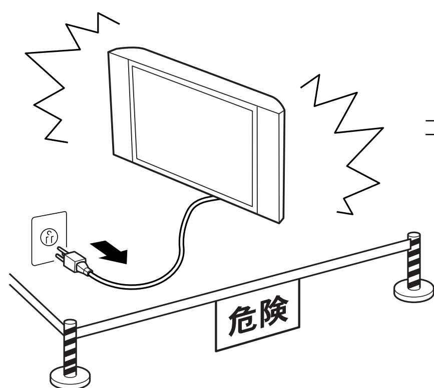
⚠ **警 告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注 意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 の記号は「気をつけてほしいこと（注意）」を示します。
 の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。
 の記号は「必ず実行してほしいこと（強制）」を示します。

■設置後のご使用時において

⚠ 警 告



電源プラグをコンセントから抜け

異常が発生したときは、電源プラグを抜き、人が近寄れないよう処置をしてください。
ネジや部品のゆるみ、はずれ、ガタがあるなど、落下の危険性があるような異常が発生した場合、あるいは煙が出た、変な匂いがする、水や異物が入った、画面が映らない、破損したなどプラズマディスプレイ本体に異常が発生した場合、異常状態のままご使用になると事故や傷害の原因となります。次のような処置を行ったうえで、販売店にご連絡ください。お客さまによる調整や修理は危険ですので絶対におやめください。
①プラズマディスプレイ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
②ロープを張ったり貼り紙で知らせるなどして人が近寄れないように処置してください。



電源は、万一異常が発生したときにすぐに電源プラグを抜くことができるコンセントからとってください。



設置後の調整は必ず販売店にご依頼ください。


工事業者以外
取扱い禁止

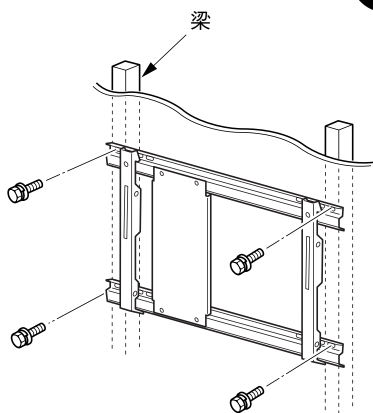
移動や方向、角度の調整などは必ず販売店にご依頼ください。
お客さまによる調整は危険ですので絶対におやめください。事故やけがの原因となります。



ぶらさがったりコードを引っ張るなどして荷重をかけないでください。
壁掛けしたプラズマディスプレイには絶対にぶらさがらないでください。落下など重大な事故やけがの原因となります。とくにお子様にはご注意ください。またプラズマディスプレイに接続したコード類を引っ張るなどして荷重をかけないでください。

■設置方法、設置場所について

⚠警 告





壁面は総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐え得る施工を行ってください。
誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、プラズマディスプレイが落下して重大な事故やけがの原因となります。次の事項を守って正しく設置してください。

●壁面は壁掛けユニットとプラズマディスプレイを合わせた荷重を支える十分な強度が必要です。設置の前に、壁掛けユニットの質量とプラズマディスプレイの質量を確認のうえ、壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- ●壁掛けユニットの質量…約5.0ｋｇ
- ●プラズマディスプレイの質量…プラズマディスプレイの取扱説明書等でご確認ください。

●荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
●強度が不十分な壁面への直接取り付けは行わないでください。幅木や受け木、天井吊り金具には取り付けないでください。
●コンクリートの壁に取り付ける場合は総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

⚠警 告



開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。


水ぬれ禁止

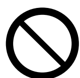

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂場やシャワー室、屋外や窓の近くなど、水がかかる場所には設置しないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注 意



温度や湿度が高くなる場所には設置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。



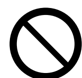
エアコンの吹き出し口、吸い込み口の近く、ほこりや油煙、たばこの煙が多い場所に設置しないでください。火災や故障の原因となることがあります。



天井や極端に傾いた壁面に設置しないでください。内部に熱がこもって高温になり火災の原因となることがあります。
また落下や破損、けがの原因となることがあります。



通風孔をふさぐような設置をしないでください。周囲には10ｃm以上（背面は3.5ｃm以上）の距離をとり、通風を妨げないようにしてください。内部が高温になり火災や故障の原因となることがあります。



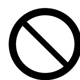
スプリンクラや感知機の近くに設置しないでください。誤動作や感電の原因となることがあります。

■設置作業について

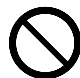
⚠警告


作業は必ず 2 人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。


プラズマディスプレイを、設置した壁掛けユニットに取り付ける際は、ディスプレイ取付金具の引掛け切欠きが、壁取付金具（上・下）の受け口に確実に入っていることを確認してください。
掛けたあとは底面から必ずネジ締めして固定してください。確実に行わないと落下などの事故やけがの原因となります。


部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。


ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また金具類は必ず付属のものをご使用ください。落下などの事故やけがの原因となります。


壁掛け金具に指をはさまないようにご注意ください。

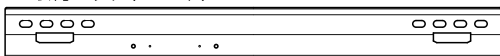
■設置の前に

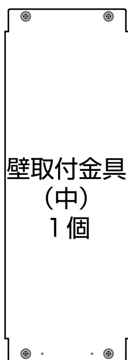
アンテナや外部機器の接続に必要なコード類は、長さや配線の引き回し方法を設置の前に計画し、準備をしてください。プラズマディスプレイを壁面に設置した後では、接続や配線が困難な場合があります。

壁取付金具組立方法

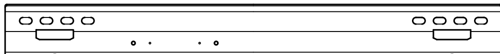
- **壁取付金具（上・下）と壁取付金具（中）を M5×12ネジ（4個）で固定する**

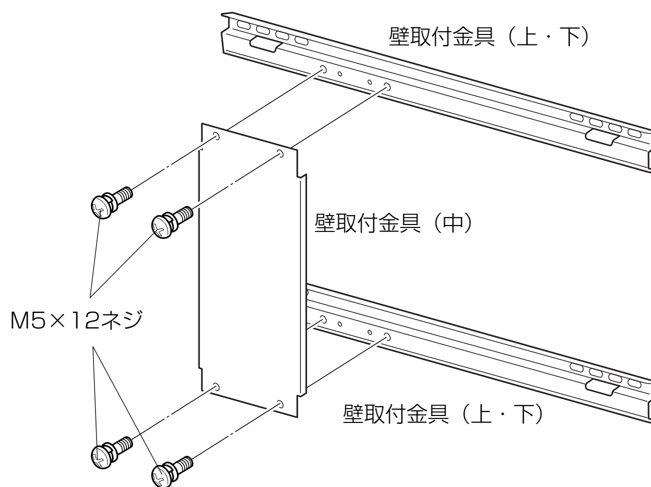
壁取付金具（上・下）





壁取付金具（上・下）





※壁取付金具（上・下）の組立方向にご注意ください。

設 置 方 法

■壁取付金具の壁面への取付け

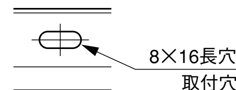
1. 各種の壁に対応する市販のアンカー類およびネジ等を4組以上用意してください。

2. 本設置説明書の安全上のご注意の設置場所についてをよくお読みのうえ、プラズマディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。

3. プラズマディスプレイの外形および画面センターと壁取付金具の取付穴の位置関係はプラズマディスプレイの機種毎に図のように設定されています。図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。

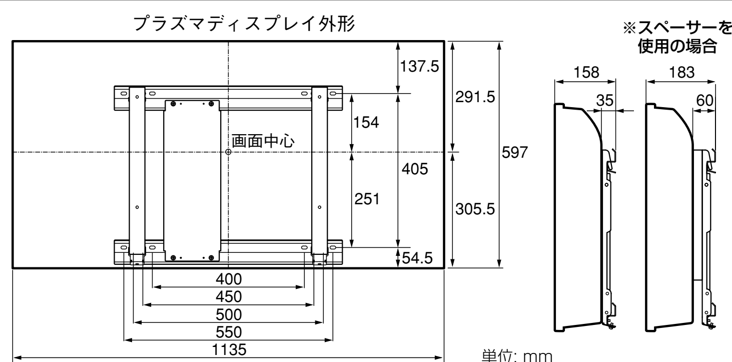
● 壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

取付穴の寸法



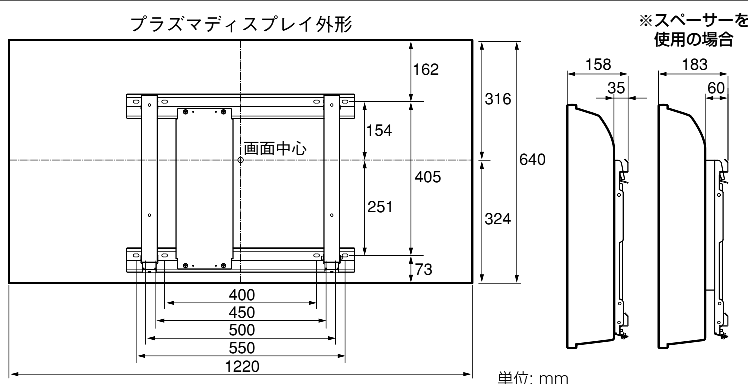
プラズマディスプレイ37V型の場合

- PDP-37HD3
- PDP-37H3
- PDP-37V2
- PDP-37HD5



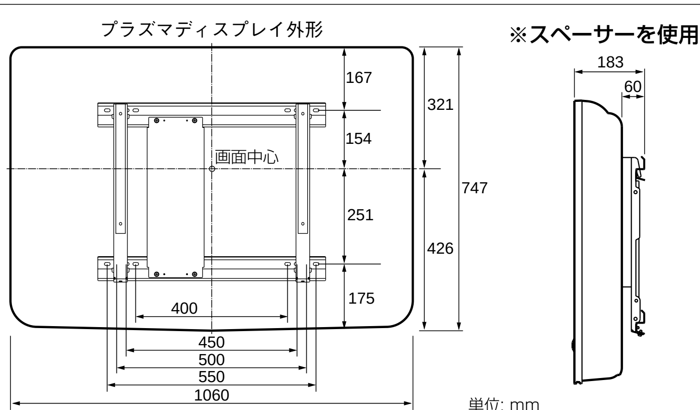
プラズマディスプレイ42V型の場合-1

- PDP-42HD3
- PDP-42H3
- PDP-42V2
- PDP-42V2EX



プラズマディスプレイ42V型の場合-2

- PDP-42HD5
- PDP-42V3

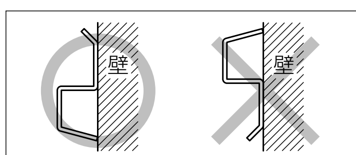


ご 注 意

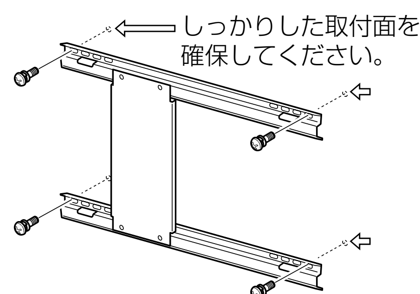
PDP-42HD5・PDP-42V3に取り付ける場合、必ずスペーサーを使用してください。（6ページ参照）

4. 壁取付金具を壁面にしっかりと取付けてください。

● 取付けは壁取付金具の取付穴上下各 2 ヶ所以上にバランスよく行ってください。



※壁取付金具の壁面への上下取付け方向にはご注意ください。



■ディスプレイ取付金具をプラズマディスプレイに取り付ける

以下の説明はプラズマテレビV2・V3シリーズ（V2EXも同様）への取り付け方法です。
プラズマテレビHD3・H3・HD5シリーズはお買い上げ時、プラズマテレビにスタンドが取り付けられています。HD3・H3・HD5シリーズを壁に取り付けるときは、プラズマテレビがスタンドに立った状態でディスプレイ取付金具を取り付け、次にプラズマテレビ本体をスタンドからはずして壁取付金具へ取り付けます。（テーブルなどの上にふせる必要はありません）
プラズマテレビ本体をスタンドからはずす方法については、プラズマテレビHD3・H3・HD5シリーズそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

ご 注 意

PDP-42HD5・PDP-42V3に取り付ける場合はスペーサーが必要です。
必ずスペーサーを使用してください。

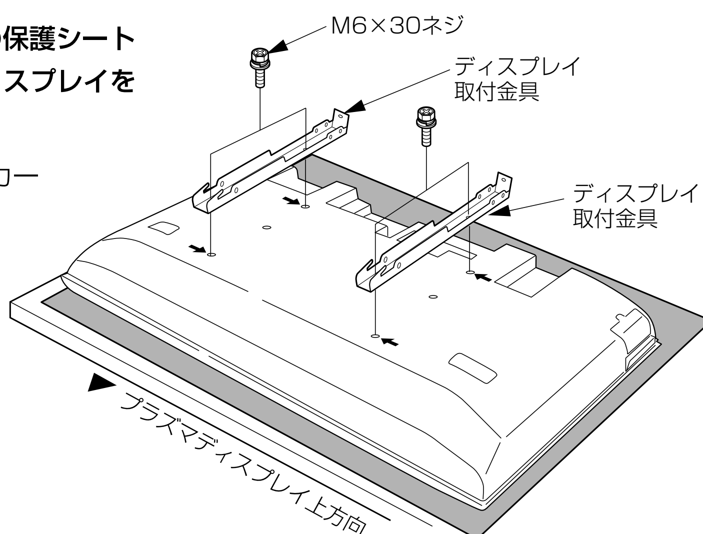
※スペーサーを使用しない場合

1. テーブルの上などで、傷防止用の毛布などの保護シートを敷き、画面側を下向きにしてプラズマディスプレイを置いてください。

（注意）異物や突起があるとパネルやスピーカー部分の破損、傷の原因となります。

2. ディスプレイ取付金具をM6×30ネジでプラズマディスプレイ裏蓋に取り付けます。

（注意）4つの矢印（➡）で指したネジ穴には出荷時にネジが止まっています。ディスプレイ取付金具を取り付ける場合はネジをはずし改めて取り付けてください。



※プラズマディスプレイ37V型、42V型とも取付方法は同じです。

（注意）ネジの長さを間違えないようご注意ください。スペーサーを使用せずに金具をM6×60ネジで取り付けますと、ネジの先端が内部に当たって取り付けられないほか、破損の原因となります。

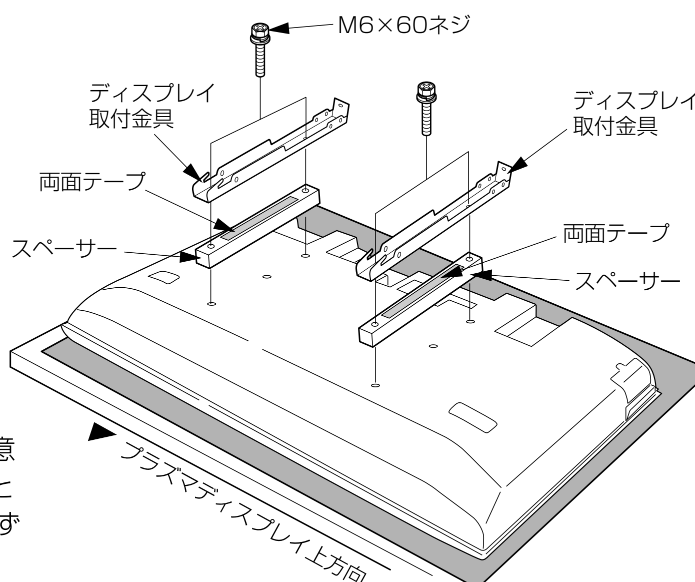
※スペーサーを使用する場合

※後面の端子、特にPC入力コード、デジタル音声出力コード、ビデオコントロールコードを接続する時は必ずスペーサーを使用して取り付けてください。

1. スペーサーの両面テープをはがし、取付金具に穴を合わせて貼り付けます。

2. M6×60ネジを使用してディスプレイ本体に取り付けます。

（注意）ネジの長さを間違えないようご注意ください。スペーサーを使用したときはM6×30ネジだと長さが足りず金具を取り付けられません。



■プラズマディスプレイの壁取付金具への取付け

プラズマディスプレイを壁取付金具に取付けます。

●プラズマディスプレイ背面のディスプレイ取付金具の上 2 ヶ所の引掛け切欠きを壁取付金具の受け口に引掛けます。

（注意）引掛け切欠きと受け口が完全に引掛かっていることを確認してください。

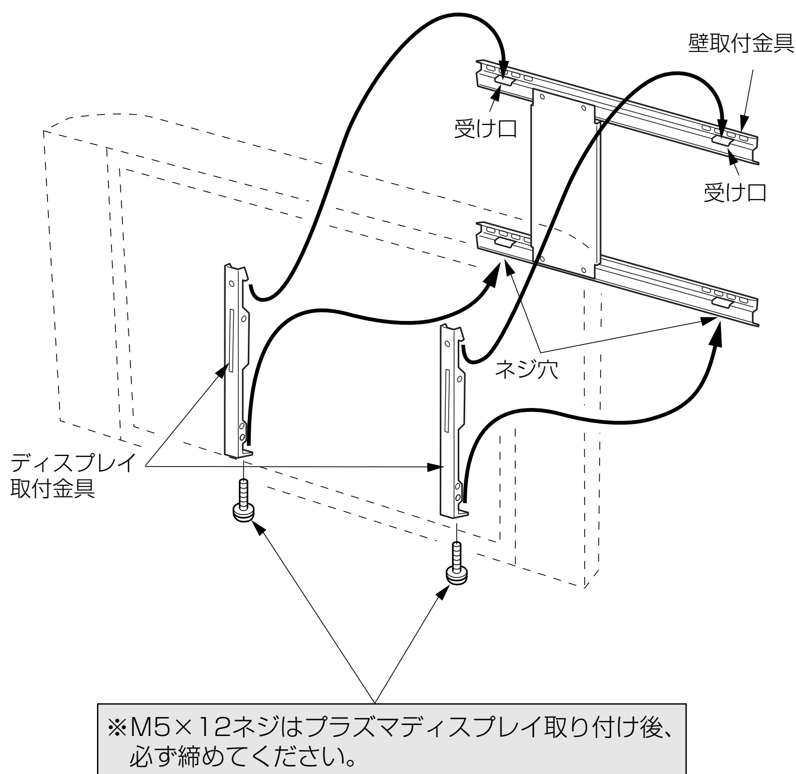
●底面 2 ヶ所からM5×12ネジで固定します。

（注意）壁取付金具のネジ穴とディスプレイ取付金具の穴が一致していることを確認してネジ締めしてください。

注 意

※プラズマディスプレイは必ず 2 人以上で運んでください。

※プラズマディスプレイを持つときは、必ずディスプレイ本体を持ち、取付けた金具部分などは持たないでください。

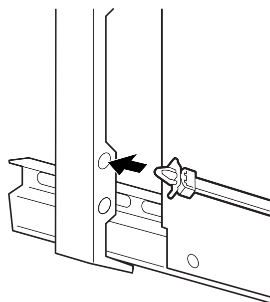


※M5×12ネジはプラズマディスプレイ取り付け後、必ず締めてください。

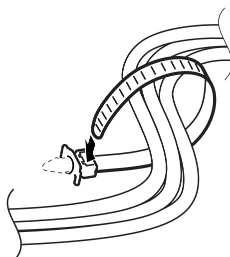
■電源コードなどケーブル類のスタイル取り

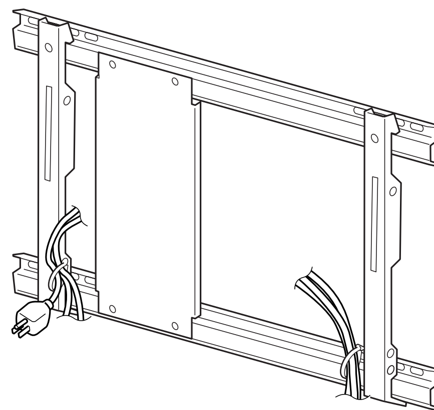
プラズマディスプレイモニターの電源コードや信号ケーブル等の傷つきや、絡まりを防止するため、同梱の結線バンドなどを使用して束ねることができます。

●結線バンドを 穴に差し込む



●結線バンドでコードを束ねる

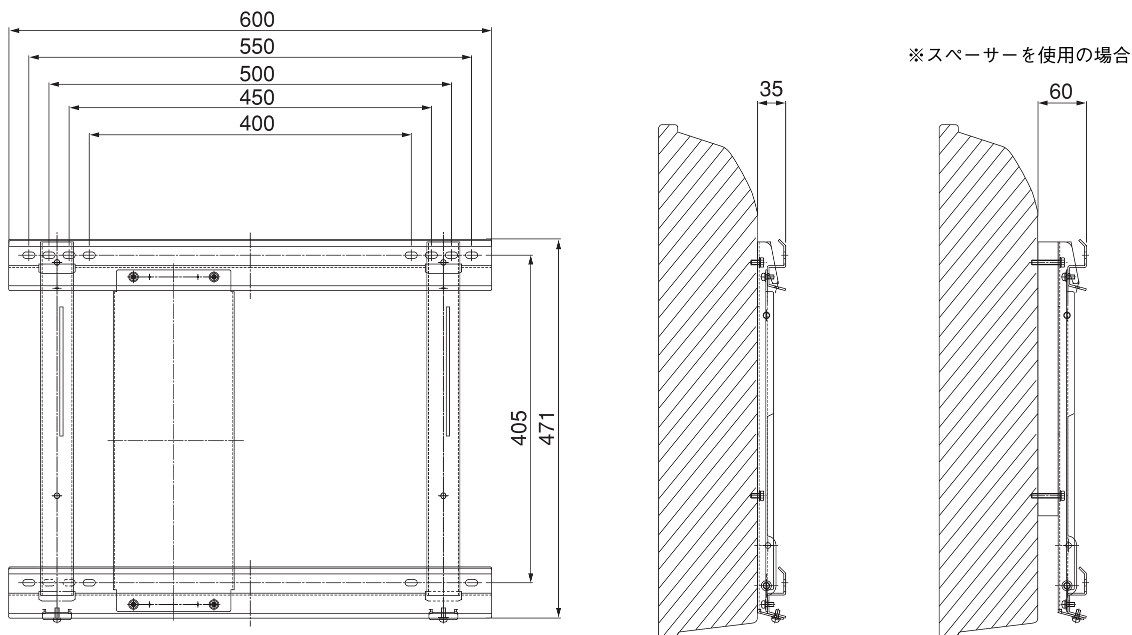




製品仕様

外形寸法

単位：mm



質量	5.0 kg
主な素材	鋼板
表面処理	黒色電着塗装
取付対象製品	37V型/42V型 プラズマディスプレイ（詳しくは取扱い販売店にご相談ください。）

製品の仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。

三洋電機株式会社　www.sanyo.co.jp
コンシューマ企業グループ　AVソリューションズカンパニー
フラットパネルテレビビジネスユニット　事業推進部
〒574ー8534　大阪府大東市三洋町1ー1